



全体鳥瞰イメージ

# (仮称) 高田屋嘉兵衛公園道の駅整備について

## 令和8年7月4日(土)13時30分～

洲本市 産業振興部 農政課

本資料を使用する場合は、事前に市農政課へお問合せください。

# 本日の内容

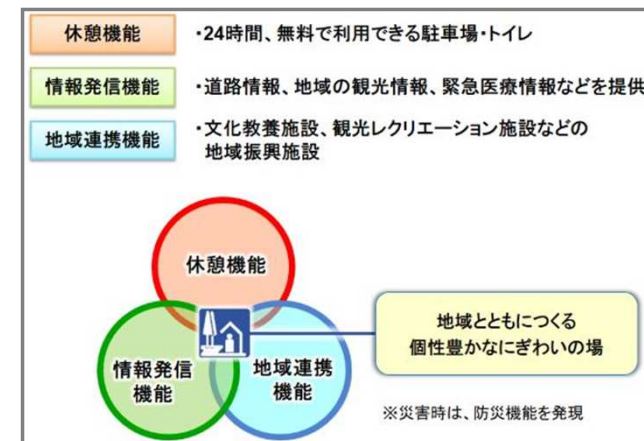
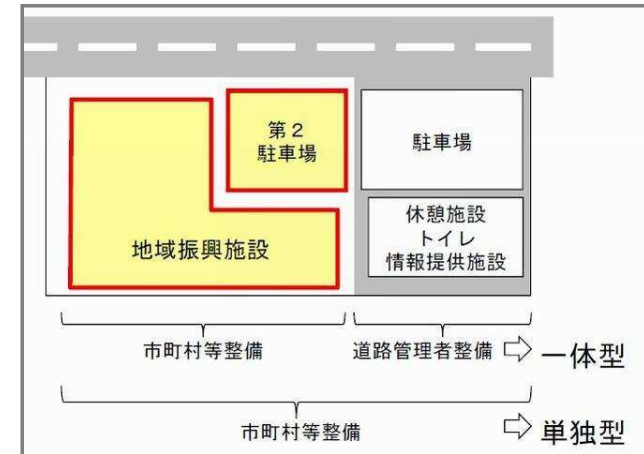
1. はじめに
2. 「道の駅」制度とは
3. 周辺の状況
4. 公園の利用状況
5. 整備方針
6. 関係団体等からの意見や  
アンケート調査の結果について
7. 基本設計業務概要について（別紙）
8. 今後のスケジュール等について

# 1. はじめに（高田屋嘉兵衛公園での道の駅整備について）

- 高田屋嘉兵衛公園は、嘉兵衛翁の偉業を顕彰し後世に伝えるため造営された施設で、平成7年5月に開園しました。
- 開設から30年が経過し、施設の老朽化も顕著であり、また、時代に即した新たな賑わいの創出や、利用者のニーズに対応できる施設環境の確保が課題となっています。
- 近年、淡路島内では、新たな観光・宿泊施設が相次ぎオープンしており、本公園を取り巻く周辺環境は大きく変化しています。
- こうした状況の中、地域活性化の拠点を形成するため、令和元年度に重点「道の駅」の企画提案に応募し、令和2年2月に国土交通大臣から認定を受けました。
- これを受けて、令和3年3月に「道の駅」施設整備の方向性や骨格を示す「基本計画」を策定しました。
- しかし、その後の新型コロナの影響により社会やライフスタイルが変化し、また、新たな社会潮流であるSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組が始まり計画の見直しが必要となりました。
- 改めて令和6年度から設計業務を進めることとし、社会情勢の変化等も踏まえ、本公園が持つ可能性を十分に引き出し、公園全体の活性化を図るため、核となる「道の駅」機能を含む公園全体を見据えた再整備に向け進めていくものです。

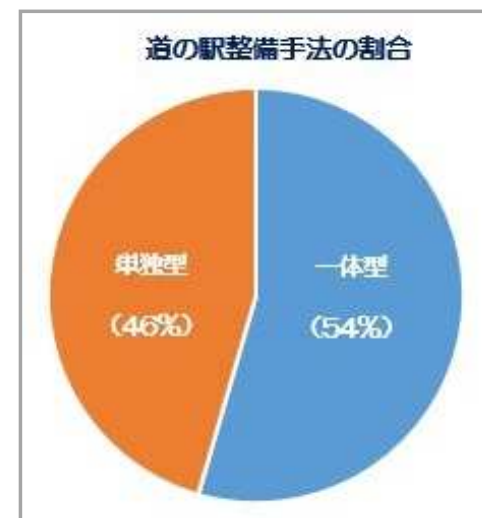
## 2. 「道の駅」制度とは

- 道の駅は「安全で快適な道路交通環境の提供」「地域振興に寄与」することを目的として平成5年に発足した制度です。
- 近年は、道の駅の基本機能（休憩機能、情報発信機能、地域連携機能）に加えて、防災機能を備える道の駅も増えています。
- 地域の創意工夫により「道の駅」を地域活性化の拠点とする取り組みなどが進められています。
- 全国における道の駅は、令和7年12月時点で、1,231駅となっており、近畿内に159駅、兵庫県内に36駅が設置されています。
- 「道の駅」整備の方法は、設置する場所の前面道路の管理者と市町村等で整備する「一体型」と、市町村で全て整備を行う「単独型」の2種類があります。
- 本市が整備予定の道の駅は、接道が市道であるため、本市単独で計画・整備を進める「単独型」で進めています。

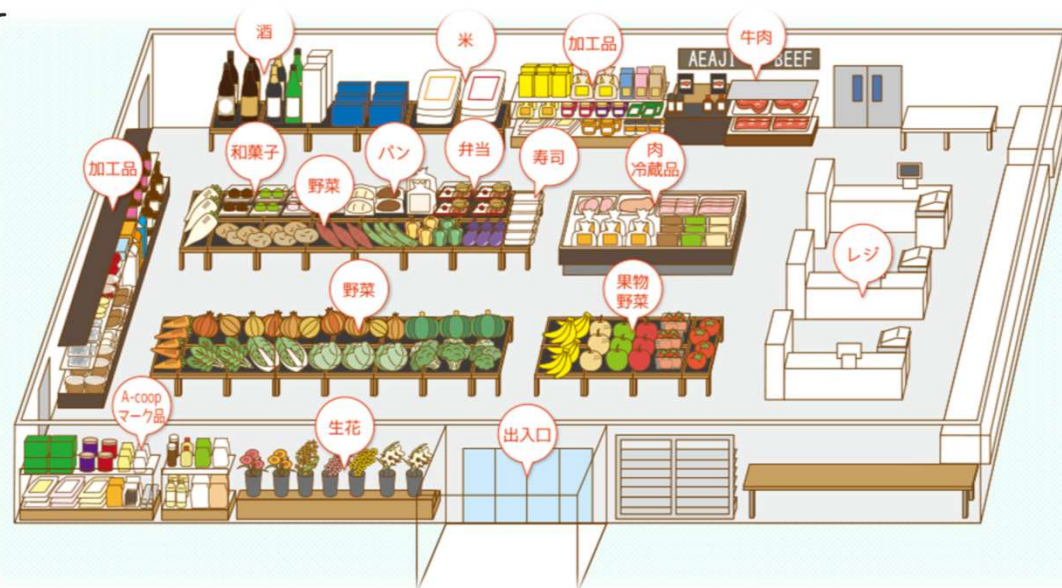




- 整備手法の割合は、一体型が54%、単独型が46%となっています。
- 淡路島内には、道の駅が4駅登録されており、他にも道の駅に類似する大型の農産物直売所等が多数設置されており、島内にはJAの直売所等が開設されています。



それぞれの施設の概要は次頁のとおりです



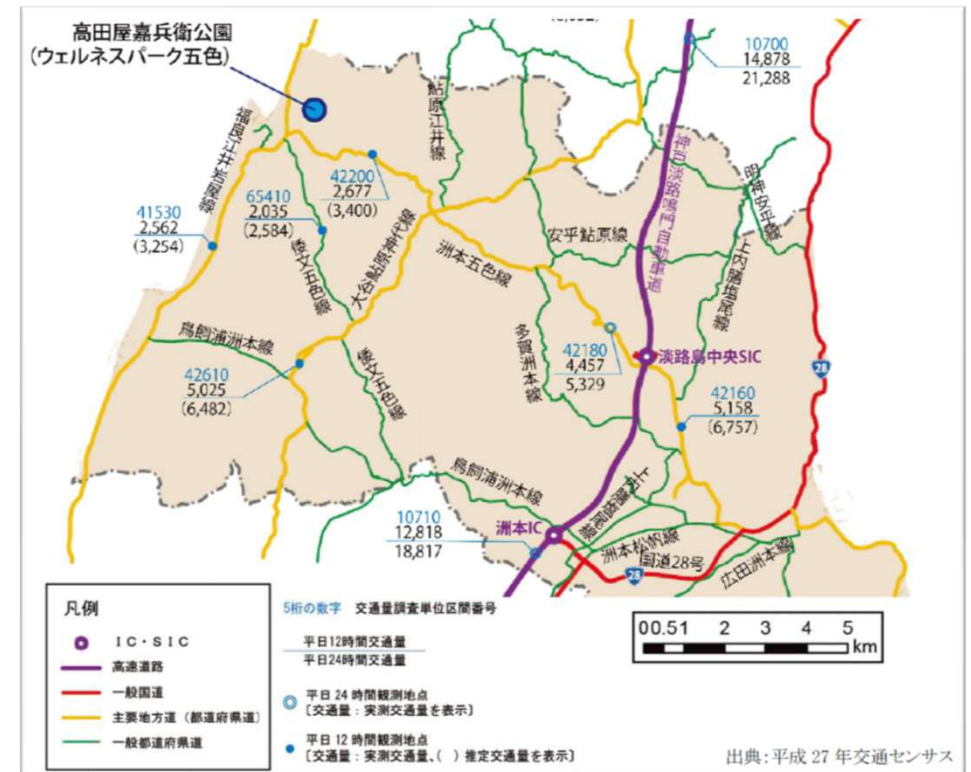
◎淡路島内の道の駅・JA ファーマーズマーケット

| 名称  |       |                  | 施設概要等                                       |
|-----|-------|------------------|---------------------------------------------|
| 道の駅 | 淡路市   | あわじ              | レストラン、軽食及び喫茶、公園、観光案内、身障者トイレ、ショップ            |
|     |       | 東浦ターミナルパーク       | 文化施設、観光案内、身障者トイレ、ショップ                       |
|     | 南あわじ市 | 福良               | レストラン、軽食及び喫茶、温泉施設、展望台、文化施設、観光案内、身障者トイレ、ショップ |
|     |       | うずしお             | 飲食、展望台、観光案内、身障者トイレ、ショップ                     |
| 直売所 | 淡路市   | あわじ花さじき<br>産地直売所 | 販売品目：野菜、果物、淡路島の特産品                          |
|     | 南あわじ市 | 美菜恋来屋            | 販売品目：農産物、肉、鮮魚、米、加工品、乳製品等                    |
|     | 洲本市   | 御食菜采館洲本店         | 販売品目：農産物、肉、生鮮食品、加工品、乳製品等                    |

### 3. 周辺の状況

- 本公園は、主要地方道福良江井岩屋線及び洲本五色線に近接。
- 平成27年道路交通センサスでは、主要地方道福良江井岩屋線の12時間の交通量は2,562台、24時間の交通量は3,254台。  
主要地方道洲本五色線では、12時間の交通量は2,677台、24時間の交通量は3,400台。

※令和3年度交通センサスでも同程度の台数となっています。



## 4. 公園施設の利用状況

- 公園の利用者は、地域住民が年間パスポートによって施設利用していることからゆ〜ゆ〜ファイブの利用者が最も多く、年間約14万人が利用。
- いずれの施設も、新型コロナウイルスの影響を受け令和3年度の利用者数は他の年より少ない。
- 季節での利用状況は、宿泊施設関係は夏休み、春休み期間で利用者が集中しているが、レストランは季節ピークがあまりみられない。
- 各施設の利用状況は右の表のとおり。

【単位：人】

| 施設区分 | 施設名      | 令和3年度   | 令和4年度   | 令和5年度   | 令和6年度   | 令和7年度   |
|------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 宿泊   | 浜千鳥宿泊    | 4,645   | 6,486   | 5,879   | 6,415   | 6,872   |
|      | ログハウス    | 12,911  | 13,500  | 12,143  | 11,183  | 8,684   |
|      | オートキャンプ場 | 18,984  | 17,576  | 14,385  | 12,710  | 11,239  |
| 飲食   | 浜千鳥レストラン | 22,986  | 25,179  | 28,769  | 27,911  | 25,152  |
| 運動   | テニスコート   | 6,439   | 8,816   | 9,339   | 8,842   | 7,482   |
|      | GOGOドーム  | 7,734   | 3,759   | 0       | 0       | 0       |
|      | 芝生広場等    | 17,651  | 21,315  | 24,022  | 22,913  | 26,824  |
| 温浴   | ゆ〜ゆ〜ファイブ | 130,387 | 140,135 | 140,245 | 143,772 | 146,328 |
| 体験   | 菜の花ホール   | 2,762   | 3,551   | 4,280   | 3,834   | 2,984   |
|      | 洋ランセンター  | 26,898  | 30,837  | 28,378  | 27,002  | 23,528  |
|      | 夢工房      | 6,188   | 7,100   | 8,654   | 8,214   | 8,932   |

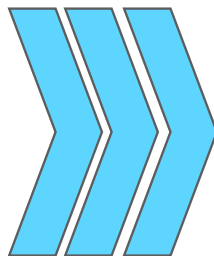


## 5. 整備方針【認定申請時の方針（一部抜粋）】

- ・地域連携DMOとの連携により、日本遺産「北前船寄港地・船主集落」や御食国（みけつくに）淡路島の豊かな農水産物などの地域資源を活かした、周遊・滞在型観光、インバウンド観光を推進し、次世代観光拠点の形成を目指す
- ・淡路島中央スマートICを活用した高速道路との連携により、淡路島西海岸観光のゲートウェイ機能を強化
- ・「アワイチ（淡路島一周サイクリングルート）」のゲートウェイ施設として、サイクリストの快適で安心な利用をサポートする機能を集約
- ・ベビーコーナーや移住相談窓口の設置等により、子育て世代や移住希望者を応援

### 【地域の課題】

淡路島内の行政機関や道の駅は、概ね島の東海岸側に位置。西海岸の少子高齢化・人口減少は著しく、いち早く地域の活性化に向けた拠点形成が必要。



### 【対応案】

都市農村交流や高田屋嘉兵衛翁の顕彰を目的として設置された本公園を、地域活性化の拠点として再整備。



約10haの広い敷地に、江戸時代後期に活躍した廻船問屋「高田屋嘉兵衛」ゆかりの資料（日本遺産「北前船寄港地・船主集落」構成文化財）を所蔵する資料館をはじめ、公共の宿、温浴施設（天然温泉）、ログハウスやオートキャンプ場、芝生広場、遊具等の様々な施設が配置。

| 駅名               | 都道府県 | 設置者 | 路線    | 新設/既設 | 設置年度  | 種別  |
|------------------|------|-----|-------|-------|-------|-----|
| 高田屋嘉兵衛公園<br>(仮称) | 兵庫県  | 洲本市 | 県道31号 | 新設    | 令和3年度 | 単独型 |

#### －西海岸の地域振興と淡路島中央SICの活用－

西海岸には、播磨灘に沈む夕日や、サワラや淡路ビーフ、たまねぎ等の食材、海水浴場や観光農園、カフェ等の観光資源が豊富。本施設が拠点となり、淡路島中央SICも活用しながら、情報発信や特産品の販売等を実施。



#### －子育て・田舎暮らし応援－

ベビーコーナーの整備や遊具の設置・改修等により、子育て家庭にとってさらに居心地の良い公園に。本市は民間の「子育て世代にぴったりの田舎」ランキング等で全国1位の実績有。新たに園内に移住相談窓口を設置。



#### －サイクルツーリズムの振興－

淡路島ロングライド150の開催など、サイクリストの人気の高まる淡路島において、宿泊施設等と連携して、滞在型で観光を楽しむサイクルツーリズムを推進。



#### －環境学習の推進による地域活性化－

園内で、嘉兵衛翁の愛した菜の花の搾油や、廃食用油から軽油代替燃料を製造するプロジェクトを実施。また、竹チップを燃料とするボイラーを温浴施設に設置している。



### <提案の先駆性・ポイント>

- (一社)淡路島観光協会（地域連携DMO）と連携した情報発信、外国人観光案内所に関するJNTO認定（カテゴリー1）を目指す
- 淡路島中央SICを活用したモデル観光ルートの発信
- 高速バス停、宿泊施設、サイクルステーション、レンタサイクル等の各種施設・設備を組み合わせたサイクリスト受入
- 広い敷地と多様な施設を活かした子育て応援
- 国のバイオマス産業都市や次世代エネルギーパークにも認定されている洲本市の先進的な施設を活用した環境学習

### <実施内容>

- 日本遺産「北前船寄港地・船主集落」や淡路島西海岸の魅力を集約した情報発信、特産品販売施設の整備
- サイクルステーションの整備とサイクリスト向け情報発信・宿泊受入等の推進によるサイクルツーリズムの振興
- 移住相談窓口の設置及びベビーコーナー、芝生広場や遊具等を活かした子育て世代への憩いの場の提供
- 竹チップ炊きバイオマスボイラーや廃食用油から軽油代替燃料を製造する装置等を活用した環境学習の推進による地域活性化



## 5. 整備方針

- ① 「歴史・自然・癒し・食」のイメージが定着する施設
- ② 公園全体が目的地化され、再来訪や滞在につながる施設
- ③ 特有地域資源を見つめ直し、「磨き」や「掘り起こし」により魅力が向上する施設
- ④ 子どもから高齢者までが集う多世代交流型の施設
- ⑤ 賑わいや新たな交流が生まれるきっかけの場所となる施設



### 【整備コンセプト】

歴史が薫り、自然・温泉に癒され、食を堪能、  
多世代集う賑わいステーション

## 6. 関係団体等からの意見や アンケート結果について

事業者や学校関係者の方等との意見交換会やホームページを通じてのアンケート調査を実施し、新たに建設する「道の駅」に求める機能や要望、既存の公園に対する不具合や課題等について整理を行い設計業務を進めました。

|         |                                    |
|---------|------------------------------------|
| 令和2年11月 | HPで市民向けアンケート実施                     |
| 令和3年6月  | 五色地域小中学校PTAとの意見交換会                 |
| 令和3年7月  | 五色町商工会会員様との意見交換会<br>直売所の整備に向けた意向調査 |
| 令和6年6月  | 五色町漁業協同組合様との意見交換会                  |



## アンケートや意見交換会でいただいた結果について

全体の意見を「食」「施設・ハード」「運営・ソフト」「地域連携（地場産品の取扱）」「その他」の5つの軸で整理しました。

### Ⅰ. 食の提供（レストラン・直売所）への要望

- ①ここだけの差別化：地元産食材を活かした独自メニューや、スイーツや手軽に食べられるメニューの充実
- ②多様な価格設定：観光客だけでなく、地元住民も日常的に利用しやすい価格帯での商品の提供。
- ③体験・味見：ワンコインでの味見セットや、加工体験など「食」をエンターテインメント化する工夫。
- ④魚介類の取扱い：道の駅＝農産物という枠を外し、新鮮な魚介類等も取扱い、水産物の販売も必要。



## 2. 施設・ハードへの要望：「滞在価値」を高める機能（回遊・滞在・エンタメ）

### ①「映え」と清潔感：

- ・SNS映えするデザイン・スポット、清潔なトイレ、オシャレな空間
- ・「古臭い」印象を与えない建築デザイン（木造、ウッド調、ガラス張りなど）

### ②子育て世代への配慮：

- ・遊び場（大型遊具、アスレチック）、授乳室、足湯などの休憩機能

### ③インフラ機能の整備：

- ・フリーWi-Fi、EV充電器、駐車場の導線見直し

### ④「ここに来る理由」の創出：

- ・大規模アスレチックや遊具だけでなく、サイクリスト用の整備ブース等の整備
- ・フォトスポットや、夜景・夕日を楽しめるテラスなど、写真撮影を目的とした集客

### ⑤既存施設との「動線」連携：

- ・道の駅を中心として周囲の既存機能（温泉、公園）も「回遊」させる導線設計
- ・レンタサイクルやトゥクトゥクなど、広い敷地内や周辺を移動するための乗り物

## 2. 施設・ハードへの要望：「滞在価値」を高める機能（回遊・滞在・エンタメ）

### ⑥防災・安全機能：

- ・ 緊急時の医療・診療連携の明示、AEDや応急処置ができるスタッフの配置。
- ・ 災害時の避難機能や、燃料補給拠点（給油所）としての機能。

### ⑦ユニバーサルデザイン：

- ・ 高低差を考慮した、エレベーターやエスカレーターを設置。
- ・ 誰もが安全に移動できるバリアフリー通路の確保。
- ・ 園内の導線見直し（観光客の車両と、地元事業者の車両が交錯しない設計等）。

### ⑧体験・学習コーナー：

- ・ 地域資産（高田屋嘉兵衛、特産品、環境取り組み）を紹介する展示コーナー。
- ・ 地元食材を使ったピザ作り、バター作りなどの「体験工房」。
- ・ 地元の高校生やアマチュアが発表できる「ステージ・黒板・多目的スペース」。

### 「辛い所に手が届く」必須設備

- ・ 通信・充電：フリーWi-Fi、EV急速充電スタンド、スマホ充電スポット
- ・ 子連れ・家族への配慮：授乳室（個室・給湯器付き）、おむつ替えシート、ベビーカー利用前提の広い店内通路。
- ・ ペット対策：観光客の同行増に対応したドッグラン。

### 3. 運営・ソフトへの要望

#### ①地域主導の選定：

- ・既存店舗とのバッティングを避け、ノウハウのある事業者活用や、地元農業者・漁業者との連携

#### ②ターゲット別のサービス：

- ・サイクリスト・バイカーへの対応（駐輪場、工具貸出）、地元住民への特典（割引等）

#### ③情報発信：

- ・観光案内機能（周遊の起点）、移住定住窓口の併設

#### ④失敗への懸念と継続性：

- ・過去の失敗事例や、飽きられることを想定した「持続可能な運営」が不可欠
- ・行政主導の無理な計画ではなく、地域の民意を汲み取った運営体制を熱望

### 3. 運営・ソフトへの要望

#### ⑤価格の二極化戦略：

- ・観光客向けの「高付加価値商品」と、地元住民が日常的に買える「適正価格」を明確にすること（「観光地価格」への拒否感）

#### ⑥時間・対象の拡大：

- ・休日だけでなく、夜間や平日にも地元住民が立ち寄れる気軽さや営業時間の検討

#### ⑦サービス品質：

- ・清潔なトイレ（パウダールーム）、授乳室、充電設備、Wi-Fiなど、現代の観光インフラとして「当たり前」の質の追求

## 4. 地域連携（地場産品の取扱い）

### ①利便性の高い出品システム：

- ・手間のかからない運用、買取り制の導入、売れ残りに対する柔軟な価格調整

### ②ルール整備：

- ・納品者の服装制限や品位の維持、市内限定等の公平なルールづくり。

### ③出品者の切実な出品環境：

- ・「手間がかからないこと」が最優先。面倒なルールやシステムでは誰も出品しないという警告。

### ④漁業との協調（海への渴望）：

- ・「道の駅＝農産物」という固定観念からの脱却  
淡路島の強みである「魚介類」をどう取り込むか。  
洲本市の道の駅が成否するかの生命線

※出品に関しては、「売れ残りの処理」や「価格調整」が課題となるため、運営側でサポートする仕組みの整理



## 5. その他の意見

### ①住民優遇策の提示：

- ・「地元住民なら20%オフ」「地元住民のメリットが見えないと利用しない」等、地元の住民が日常的に使用できる施設にしてほしい

### ②行政への厳しい意見：

- ・「スマートインターの検討状況を公表すべき」、「道路環境（幅員）を何とかしてほしい」など、施設の中身以前に「交通インフラ」や「市役所のスピード感」に対する意見・要望
- ・スマートインターが開通しただけで、それに関連する施設の整備や地域振興が何も進んでいないことへの失望
- ・交通渋滞や駐車スペース不足が起きるのではないかという、周辺住民としての実生活への不安に対する行政への要求。

## いただいた意見の整理

### 施設整備：

「交流機能」「清潔感」「特別な場所」「防災対応」「地域住民が集える場」

### 地域活性化の視点：

単なる「特産品販売所」ではなく、周遊の拠点（ハブ）としての機能も期待されている。

### リスクへの懸念：

「廃れた施設になることへの不安」が非常に多いため、継続可能な運営事業者選定と、地元連携を最優先事項とすべき

### インフラへの不満：

単にアクセスだけでなく、「駐車台数不足」「イベント時の周辺の渋滞」等の実情把握

### 生産現場の実情：

ルール作りを単に理想論とするのではなく、「手間を減らさないと誰も出品しない」「売れ残りをどうするか」等、経営的視点からの切実な意見

### その他：

全員が期待しているわけではなく、「既存店で十分」「集客力のある県道沿いに」「失敗したら寂れる」等の意見や「行政の対応の遅さ・情報開示不足」についての指摘

## 7. 基本設計業務概要について（別紙）



〈「えんのえき」外観イメージ1〉

## 8. 今後のスケジュール等について (開業までにすすめること)

○今後のスケジュール等について

※令和8年4月時点でのスケジュール

| 業務内容          | 令和元年度<br>(2019年度) | 令和7年度<br>(2025年度) | 令和8年度<br>(2026年度) | 令和9年度<br>(2027年度) | 令和10年度<br>(2028年度) | 令和11年度<br>(2029年度) |
|---------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|
| 重点<br>「道の駅」   | 選定                |                   |                   |                   |                    | 令和11年度開業予定         |
| 基本設計          |                   | 基本設計              |                   |                   |                    |                    |
| 実施設計<br>・施工監理 |                   |                   | 実施設計              |                   | 工事・施工監理            |                    |
| 既存施設改修        |                   |                   | 改修設計              | 改修工事              |                    |                    |
| 運営            |                   |                   | 運営準備              |                   |                    |                    |

## 8. 今後のスケジュール等について (基本設計完了時の概算事業費)

○事業費について【※基本設計完了時（2025年12月）の概算】

(千円)

| 工事項目                                              | 事業費（税込）   |
|---------------------------------------------------|-----------|
| 道の駅駅舎、駅舎前の通路屋根、敷地造成、施設周辺の整備、駐車場整備                 | 1,981,000 |
| 浜千鳥棟との連絡ブリッジ、浜千鳥デッキ                               | 214,500   |
| 芝生広場の整備（遊具、四阿、トイレ等の設置）<br>※芝生広場の園内通路は駅舎の整備時に実施を予定 | 224,500   |
| 休日・イベント時に使用する第二駐車場の整備                             | 62,700    |
| 合計                                                | 2,482,700 |

※1 上記事業費は、新たに建設する道の駅整備に係る事業費です。（改修工事や別途工事等は含まれていません）

2 最近の資材高騰等により、概算見積時からさらに事業費の増額が見込まれます。

## 8. 今後のスケジュール等について (実施設計業務を進めるにあたっての課題)

基本設計の内容を基に詳細設計を進めていくことになりますが、以下の点が進めていくうえでの課題となります。

- ・ 資材費、人件費の高騰が今後も続く見込みのため、事業費の見込みが立てることが難しい。
- ・ 公園全体を一括の工事発注とするか。駅舎建設と周辺整備の工事を先行発注するか等、発注方法の検討が必要
- ・ 事業費高騰が続く場合、計画の見直しや一部凍結の可能性